

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年7月31日

【四半期会計期間】 第56期第1四半期
(自平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)

【会社名】 株式会社ヤマナカ

【英訳名】 YAMANAKA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中野 義久

【本店の所在の場所】 名古屋市東区葵三丁目15番31号

【電話番号】 052(937)9310(代表)

【事務連絡者氏名】 財務部長 屋敷 昭二

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区葵三丁目15番31号

【電話番号】 052(937)9310(代表)

【事務連絡者氏名】 財務部長 屋敷 昭二

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第55期 第1四半期連結 累計期間	第56期 第1四半期連結 累計期間	第55期
会計期間		自 平成23年 3月21日 至 平成23年 6月20日	自 平成24年 3月21日 至 平成24年 6月20日	自 平成23年 3月21日 至 平成24年 3月20日
売上高	(百万円)	24,302	24,035	97,226
経常利益	(百万円)	74	451	638
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(百万円)	933	235	1,860
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	770	182	1,472
純資産額	(百万円)	13,628	12,988	12,806
総資産額	(百万円)	45,961	42,551	43,869
1株当たり四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(円)	46.23	11.67	92.16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	29.7	30.5	29.2

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第55期及び第55期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また潜在株式が存在しないため、第56期第1四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載していません。

4 第55期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに生じた重要な事項はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ、一部に景気回復の兆しが見られたものの、円高や原発問題などに加え、消費税率の引き上げ懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、お客様の低価格・節約志向が継続するとともに、当社グループの営業基盤である東海地区においては、同業他社や他業態からの出店攻勢や価格競争の激化など、販売競争が更に厳しさを増しております。

こうしたなか当社グループは、『収益体質の強化』を基本方針に掲げ、経費構造改革を着実に実行するとともに、店舗でのローコストオペレーション体制の確立と、商品力の強化に向けた商品政策の見直しなど、「営業強化策の基盤づくり」を重点テーマとして取り組んでおります。

このような結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は253億13百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。利益面においては、希望退職者募集の実施やその他あらゆる経費の見直しなど、経費構造改革が順調に推移したことから、営業利益は3億46百万円（前年同期は5百万円の営業損失）、経常利益は4億51百万円（前年同四半期比508.0%増）、四半期純利益は2億35百万円（前年同期は9億33百万円の四半期純損失）となり、前年同四半期に比べ大幅に利益改善いたしました。

なおセグメント別の状況は、以下のとおりであります。

[小売事業及び小売周辺事業]

スーパーマーケット事業を中核とする小売事業及び小売周辺事業では、『「おいしさ」と「安さ」の磨き上げ』を営業方針として、生鮮を含めたPB（プライベートブランド）商品の開発やEDLP（エブリデー・ロー・プライス）商品の拡大等に取り組んでおります。

また、当社は平成24年2月に創業90周年を迎え、「おいしいあしたへ」をテーマに記念商品の販売やお客様への優待企画などを実施し、集客力の向上を図りました。

店舗政策においては、平成24年5月に鳥居松店（愛知県春日井市）を新設いたしました。

以上の結果、小売事業及び小売周辺事業の営業収益は250億67百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

[スポーツクラブ事業]

3店舗のスポーツクラブを運営するプレミアムサポート株式会社では、スイミングスクールなど子供向けプログラムの新設・拡大により、会員数の増加を図りました。

その結果、スポーツクラブ事業の営業収益は1億95百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

[不動産事業]

店舗等の賃貸管理事業を行う不動産事業は、賃貸物件の減少による賃貸料収入の減少により、営業収益は71百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億17百万円減少し、425億51百万円となりました。これは主に有利子負債の返済により、現金及び預金が6億92百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ、14億99百万円減少し、295億63百万円となりました。これは主に有利子負債が返済により9億13百万円減少したこと、および希望退職による退職金の支払等により未払金が7億30百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加し、129億88百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億35百万円増加したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、平成24年1月実施の希望退職者募集による退職に伴い、小売事業及び小売周辺事業において150名減少しております。

なお、従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除いております。

提出会社の状況

当第1四半期累計期間において、平成24年1月実施の希望退職者募集による退職に伴い、小売事業及び小売周辺事業において149名減少しております。

なお、従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員数であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年7月31日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,425,218	20,425,218	名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株で あります。
計	20,425,218	20,425,218		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年3月21日～ 平成24年6月20日		20,425		4,220,618		5,766,230

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 9,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,404,000	204,040	
単元未満株式	普通株式 12,018		
発行済株式総数	20,425,218		
総株主の議決権		204,040	

【自己株式等】

平成24年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヤマナカ	名古屋市東区 葵三丁目15番31号	9,200		9,200	0.04
計		9,200		9,200	0.04

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年3月21日から平成24年6月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年3月21日から平成24年6月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,144,246	4,451,875
売掛金	886,497	857,980
商品及び製品	2,431,155	2,442,414
仕掛品	783	784
原材料及び貯蔵品	35,266	34,047
繰延税金資産	625,902	502,958
その他	2,090,465	1,854,733
貸倒引当金	3,487	3,005
流動資産合計	11,210,831	10,141,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,000,835	9,013,146
土地	9,907,857	9,907,857
その他(純額)	1,213,721	1,250,374
有形固定資産合計	20,122,415	20,171,378
無形固定資産		
借地権	778,236	758,060
その他	37,192	36,431
無形固定資産合計	815,429	794,491
投資その他の資産		
投資有価証券	2,693,794	2,569,628
差入保証金	7,897,570	7,759,937
繰延税金資産	74,527	63,385
その他	1,123,301	1,123,791
貸倒引当金	113,246	112,499
投資その他の資産合計	11,675,948	11,404,242
固定資産合計	32,613,794	32,370,113
繰延資産	44,441	39,368
資産合計	43,869,066	42,551,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,875,921	5,985,347
短期借入金	2,495,000	1,745,000
1年内返済予定の長期借入金	2 3,572,834	2 4,862,208
1年内償還予定の社債	525,000	625,000
未払金	1,734,984	1,004,391
未払費用	1,211,801	1,472,332
未払法人税等	155,250	53,920
賞与引当金	188,843	72,012
ポイント引当金	73,941	92,656
店舗等閉鎖損失引当金	129,461	129,461
資産除去債務	14,050	14,455
その他	673,556	678,813
流動負債合計	16,650,645	16,735,599
固定負債		
社債	3,475,000	2,875,000
長期借入金	2 6,527,246	2 5,573,913
リース債務	602,022	615,004
繰延税金負債	302,581	269,343
退職給付引当金	995,522	997,165
長期預り保証金	1,148,249	1,123,087
資産除去債務	1,199,984	1,214,278
その他	161,809	159,862
固定負債合計	14,412,415	12,827,656
負債合計	31,063,061	29,563,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,618	4,220,618
資本剰余金	5,766,230	5,766,230
利益剰余金	3,051,672	3,287,218
自己株式	897,597	907,509
株主資本合計	12,140,923	12,366,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665,081	621,457
その他の包括利益累計額合計	665,081	621,457
純資産合計	12,806,005	12,988,014
負債純資産合計	43,869,066	42,551,270

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
売上高	24,302,563	24,035,186
売上原価	18,161,263	17,983,824
売上総利益	6,141,299	6,051,362
営業収入	1,277,290	1,278,128
営業総利益	7,418,590	7,329,491
販売費及び一般管理費	7,424,076	6,982,493
営業利益又は営業損失()	5,485	346,998
営業外収益		
受取利息	7,624	6,919
受取配当金	10,110	12,101
持分法による投資利益	-	4,516
オンライン手数料	91,766	99,816
その他	50,863	51,628
営業外収益合計	160,365	174,982
営業外費用		
支払利息	65,808	59,883
持分法による投資損失	1,999	-
その他	12,822	10,664
営業外費用合計	80,629	70,547
経常利益	74,250	451,432
特別利益		
固定資産売却益	23	738
貸倒引当金戻入額	387	-
収用補償金	-	9,586
特別利益合計	410	10,325
特別損失		
固定資産除却損	23,375	6,746
投資有価証券評価損	63,003	61,225
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	752,695	-
減損損失	-	13,064
その他	1,311	-
特別損失合計	840,386	81,036
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	765,725	380,721
法人税、住民税及び事業税	46,404	37,408
法人税等調整額	98,762	117,678
法人税等合計	145,166	155,087
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	910,892	225,633
少数株主利益又は少数株主損失()	22,464	9,911
四半期純利益又は四半期純損失()	933,356	235,545

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	910,892	225,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,034	43,624
その他の包括利益合計	140,034	43,624
四半期包括利益	770,857	182,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,321	191,921
少数株主に係る四半期包括利益	22,464	9,911

【追加情報】

<p>当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)</p>
<p>当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
<p>1 偶発債務 連結会社以外の関連会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。 新安城商業開発株 428,000千円</p> <p>2 財務制限条項 借入金のうち、シンジケートローン契約(契約日平成22年9月27日、借入金残高800,000千円)には、財務制限条項がついており、下記の条項に抵触した場合、契約上すべての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。 (1) 各年度の決算期末における単体及び連結の貸借対照表の純資産の部の金額を、直前の決算期または平成22年3月に終了した決算期の末日時点における金額のいずれか大きい方の75%の金額以上に維持すること。 (2) 各年度の決算期にかかる単体及び連結の損益計算書上の経常損益につきそれぞれ2期連続して経常損失を計上しないこと。</p>	<p>1 偶発債務 連結会社以外の関連会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。 新安城商業開発株 422,000千円</p> <p>2 財務制限条項 借入金のうち、シンジケートローン契約(契約日平成22年9月27日、借入金残高700,000千円)には、財務制限条項がついており、下記の条項に抵触した場合、契約上すべての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。 (1) 各年度の決算期末における単体及び連結の貸借対照表の純資産の部の金額を、直前の決算期または平成22年3月に終了した決算期の末日時点における金額のいずれか大きい方の75%の金額以上に維持すること。 (2) 各年度の決算期にかかる単体及び連結の損益計算書上の経常損益につきそれぞれ2期連続して経常損失を計上しないこと。</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)
減価償却費	297,284千円	292,308千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月15日 定時株主総会	普通株式	127,600	6.25	平成23年3月20日	平成23年6月16日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書上額 (注)2
	小売事業 及び小売 周辺事業	スポーツ クラブ事業	不動産事業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	25,311,160	189,293	79,399	25,579,853		25,579,853
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	19,868			19,868	(19,868)	
計	25,331,029	189,293	79,399	25,599,722	(19,868)	25,579,853
セグメント利益又は損失 ()	155,285	3,775	12,458	171,519	(177,005)	5,485

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用177,005千円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書上額 (注)2
	小売事業 及び小売 周辺事業	スポーツ クラブ事業	不動産事業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	25,046,585	195,314	71,416	25,313,315		25,313,315
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	20,900			20,900	(20,900)	
計	25,067,485	195,314	71,416	25,334,216	(20,900)	25,313,315
セグメント利益	494,671	16,068	8,609	519,349	(172,351)	346,998

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用172,351千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	46.23円	11.67円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	933,356	235,545
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	933,356	235,545
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,189	20,189

- (注) 1 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月30日

株式会社ヤマナカ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部 則夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 河嶋 聡史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヤマナカの平成24年3月21日から平成25年3月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年3月21日から平成24年6月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年6月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヤマナカ及び連結子会社の平成24年6月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。